

サンホセ(SJ)・アグアスカリエンテス(AC)小学部第5学年合同遠隔授業 社会科学習指導案(略案)

「これからの食料生産とわたしたち」

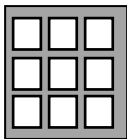
授業者 T1 宮本豪 (SJ) T2 阿部邦弘 (AC)

<第1時>

目標：日本が食料品を輸入に頼っていること、食料自給率が低いことに関心をもつことができる

ICT：合同遠隔の形態やロイロノートの使い方に慣れる (☆)

対話：相手の意見を聞いて反応を示したり、自分の意見を相手に伝えたりする (◎)

学習活動及び内容	指導上の留意事項
iPad でロイロノートの準備をしておく。 1 現在の世界の情勢を取り上げ、仮に日本が他国と貿易ができなくなった状況を想定する。 →確認ワード【食料自給率】 2 本時の学習課題を確認する。 日本がロックダウン!!食べられる料理を確保せよ! 3 食料確保ゲームを行う。 (1) ロイロノートで教師から送られてきたカードに料理の写真を入れる。  スライド図 (2) ルールを確認する。 ①9つの料理の中に、食料自給率が平均50%上の食材で作られている料理が3つある。 ②グループで話し合っ、自給率の高い3つを選択する。 (3) 話し合っ、料理を選択する。 (4) 各料理の食料自給率を確認する。 4 本時のまとめを行う。 日本は輸入に頼っていて、食料自給率が低い。 5 本時の振り返りを行う。 (1) ロイロノート (2) Google form 6 次時の学習に見通しをもつ。	○iPad でロイロノートを開いておくように事前に指示しておく。 ◎こうした状況で困ることは何かを自由に発表してもらい、最終的に食料に関することに注目させる。 ○学習課題をバーチャル背景に設定する。 ☆ロイロノートでカードと料理の写真を送る。送られてきたカードに写真を入れ込むように指示する。 ○ルールをバーチャル背景に提示して説明する。 ☆話合いの際、iPad の画面共有を児童が行うように指示する。 ◎どのような食材を使っているのか、私たちが普段口にしているそれらが日本産・外国産どちらが多いのか、などに着目して話すように促す。 ◎話合いを活性化させるために、様子を見て、食材の自給率が書かれたヒントカード「○○の自給率」カードをロイロノートで送る。それぞれの異なる食材で各児童に配布する。 ☆選択した料理は、ロイロノートで各自一人一つずつ教師に送るように指示する。 ○選択した料理における食材の自給率を開示し、答え合わせを行う。正解不正解に関わらず、各料理・食材の自給率の数字の注目させ、驚きや危機意識を持たせたい。最終的に9つ全て開示する。 ☆まとめはロイロノートのテキストカードに書き、提出箱に出すように指示する。 ○まとめ方のポイントを簡易ルーブリックで示す。 ☆Google form はチャットで送り、アクセスさせる。 主 意欲的に話し合い、我が国の食料事情に関心をもっている。